

2014年度 前期		リフレクションペーパー					
学科名	生物環境化学科						
科目名	物理学 I						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	1年前期		
必修・選択の別	選択科目(バイオサイエンスコース)／選択科目(食品生物資源コース)／選択科目(エネルギー・環境コース)						
担当者	中野 吉正						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動方程式を理解し、一次元運動(等加速度運動・単振動)を解くことができる。</li> <li>・運動方程式から力学的エネルギー保存則を導くことができる。</li> <li>・極座標を用いて、天体の運動を解くことができる。</li> <li>・天体の運動から質量に関する情報を得ることができる。</li> <li>・波動の特徴を説明できる。</li> </ul>						
日程と内容	4/11 導入, 成績評価の方法, ベクトルとは 4/18 ベクトルの和と差, ベクトルの成分 4/25 関数とグラフ 5/ 2 速度と速さ, 加速度 5/ 9 いろいろな運動 5/16 力とそのつりあい, つりあいの実験 5/23 放物運動, 等速円運動 5/30 単振動(実験を含む), 単振り 6/ 6 運動エネルギーと仕事 6/13 力学的エネルギーの保存則 6/20 角運動量とその保存則 6/27 惑星の運動 7/ 4 振動と波動 7/11 波の反射 7/18 定期試験 7/24 試験の講評						
成績評価基準	定期試験 臨時試験 報告書・レポート 課題 演習		実技 部外評価 プレゼンテーション			計	100%
授業到達目標の達成度	講義を通してその目標は到達できた。また、個々の学生の理解度は課題と定期試験によって検証できた。						
反省点	学期中の課題の答案のうち不十分なものには再提出をさせて学生に各自の理解度を再確認させたが、早めに採点をする事ができなく、授業担当者としても学生の理解度を把握するのに時間がかかってしまった。						
来年度の計画	基本的に今年度を同じ内容・方法で実施する。						
授業評価アンケートに対するコメント	今年度も授業内容が難しく理解に困難を感じた学生が多かったようだ。講義の方法は毎年工夫を重ねているつもりであるが、結果に反映されないようである。講義は専門の基礎科目として必要と思われる内容を含んいると同時に、自然科学の方法についても触れているので、受講者にはより積極的に履修をしてほしかった。						
履修登録者数	54名	定期試験 受験者数	53名	合格者数	50名	合格率	94%